
「ターゲット」に選ばれた不幸な人たち

オオゼット

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

「ターゲット」に選ばれた不幸な人たち

【Nコード】

N7970H

【作者名】

オオゼット

【あらすじ】

ターゲットに選ばれてしまいある部屋に監禁されてしまった男女。

このゲームをクリアするための条件とは凄絶なものだった！！

信頼

部屋。暗くて狭い部屋に若い男と女が向かい合っている。だが、二人とも普通ではなかった。

男は手以外を鉄鎖で椅子に縛り付けられている。その椅子は4本の足ががっちり床に埋まっている。

女は四肢を鎖で天井と床に固定され、微動だにできずにいた。

部屋の隅には古ぼけた箱。男のそばにも箱、それ以外には何も無い。

男は医師でアラン、女は無職でノアと言った。二人とも相思相愛であり、結婚も考えていた。

さらに言えばノアには子供を孕んでおり、妊娠8ヶ月の身であった。

二人とも麻酔で眠らされてから数時間経つ。先にノアが起きた。

ノア「え、ここはどこ？なにこの鎖。あっ、アラン起きて、アラン」

アラン「えっ？こ、ここは・・・なぜ動けない。ノア、君もか、大丈夫か」

ノア「けがはないけど。でもどうなってるのか全然分からないわ。私たち監禁されてるの？」

アラン「ちょっと待って。・・・全く動けない。残念だがそうみた
いな。」

だがおかしい。監禁するならただ縄で結べばいいこと。こんなややこしい方法はとらないはず

だ。おまけにあのドアが開いている。といつても君にはみえないか。

「

ノア「ねえ。アランの頭の壁に文字が書いてある。」

アラン「なんだ、読んでくれ。」

ノア「えっと・・・暗くて読みづらいけど・・・なんとか・・・

今回のターゲットは君達だ。君達は今、生死の淵にいる。生きるか死ぬかは君達の勝手

だ。では本題に入ろう。部屋の隅に箱が見えるだろう。そこにはアランの鎖を外す鍵がある。

そして君の側の机にも箱があるだろう。それは医療用のメスと針と糸だ。そしてノアの鎖の鍵

はノア自身の胃のなかにある。もう分かるだろう。アランはノアの胃を切り裂き、鍵を取り出

して鎖を外す。傷口を縫ってからノアに鍵を取りに行かせる。こんな簡単なことだ。では、健

闘を祈る。」

アラン「……そういう事か。この犯人は狂っている。俺たちを試してるんだ。なにが面

白いのかはわからないけど、この糞つたれ！」

ノア「もしかして、本当に……切るの？」

アラン「そんなことは出来ないさ。第一、麻酔も消毒液もないのに君自身が持たないだろう」

ノア「大声で叫べば……」

アラン「この犯人はかなり用意周到だ。狂ってるがな。多分山奥か、人気のないところだろう」

ノア「それじゃあどうするって言うの。」

アラン「とりあえず……箱の中を見よう。」

紙に書かれていた通り中にはメスと糸と針。他には何もなく、ここで手術まがいの事をするな

ど不可能に近かった。そもそもアランは医師なりたてで手術の経験にも乏しく、まともな環境

でさえ上手いといえる手術は出来なかった。アランがメスを取り出した。

ノア「……まさかする気？」

アラン「だってそうしないと二人とも死ぬ運命だ。この犯人はおかしいが頭はいい。これ以外

に方法で助かることはできないはずだ。」

ノア「待つて、あと数時間でうんこが出るかも。」

アラン「出たところでここからじゃ君のお尻まで手が届かない。」

ノア「赤ちゃんは？赤ちゃんだっているのよ。この子を見殺しにするき？」

アラン「仕方ないだろう。子供なんてまた産めばいい。今は助かることが先だ。」

ノア「あなたって最低!!！」

アラン「仕方ない」

アランが黙って銀色に輝くメスの刃を上にした。

ノア「ちよつと待つて!!！私は？私は麻酔もなしに腹を切られるのよ!!！あなたはただ助かる

だけ？」

アランはおもむろにノアの服を上にはずらす。恐怖で叫んでいるノアを無視して刃を大きく膨ら

んだお腹に突き刺した。

鍵をすぐさま自分の鎖の鍵穴え差し込む。が、回らない。

アラン「そうか、これはノアの……」

アランは糸と針を取り出し、震える手つきで荒っぽくノアの胃はほつといて皮を縫い始めた。

縫合が済むと鍵でノアの手錠から外し、地面に倒れこんだノアの顔を何度も蹴って無理やり起こした。

アラン「さあ！この鍵で足の鎖を外してあそこの箱の鍵を俺によこすんだ！」

ノア「ううううう……い・い・い・痛い」

アラン「さあ早く行け！君が先にくたばったらどうする!？」

ノアはかすかな精神と莫大な生命力で足枷を外しほふく前進で進んでいく。ドアへ。

アラン「おい！そっちは箱じゃないぞ！おい！まさか逃げる気か？俺をおいて？」

ノア「……………」

アラン「おい！なんとか言え！この糞あま!!」

ノアは喋る気力もなくドアの外へと這い出た。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7970h/>

「ターゲット」に選ばれた不幸な人たち

2010年11月2日14時38分発行